

## 福生市における多文化共生社会に向けた取組について



正和会  
小澤 芳輝 議員



**質問** 本市の外国人住民は年々増加し、外国人との交流や理解を深める必要がある。羽村市と行っているふっさ・はむら多文化共生事業協議会の取り組みと課題を伺う。

**市長** 令和2年度にはアンケートを実施、また、多文化共生社会に向けた取り組みとして協議会を設置し、3年間を事業期間として事業を進めている。多文化共生の認知度や外国

人との交流機会の少なさ、外国人が言語や金銭的問題のほか、様々な生活情報を求めていることが明らかになったことから、令和3年度に日本人向け、外国人向けの2種類の動画を作成し、公開した。

### やさしい日本語の活用と啓発について

**質問** やさしい日本語は、外国人住民のほか、子ども、高齢者、障害

のある方にも有効でその活用は重要、市民へ啓発し広げるべきでは。

**市長** 令和3年度より、市ホームページをやさしい日本語に自動翻訳する機能を試行導入している。市民への啓発では、令和2年度は多文化共生講座を実施。やさしい日本語講座や講演を通じて多文化共生の理解を深め、外国人支援やコミュニケーションを考える機会としたい。



▲市ホームページの「やさしい日本語」自動翻訳ボタン

## 市内忠霊塔の維持、保全について



正和会  
小林 貢 議員



**質問** 福生公園内の忠霊塔が建立された経緯と保全について伺う。

**市長** 忠霊塔は昭和29年に福生町忠霊塔建設委員会により建設。福生市遺族会により維持管理されてきた。その後、平成31年3月に遺族会が解散した際、財産の残金をご寄附いただき、ふるさとづくりまちづくり基金に積み立てた。令和3年度より基金を取り崩し、年1回委託にて清

掃を実施している。また、今後老朽化が進んだ場合には、専門家等のご意見を伺いながら保全について考えてまいりたい。

### 児童・生徒を交通事故から守る取組の推進について

**質問** 学校における交通安全教育の目的と取り組み状況を伺う。

**教育長** 交通安全教育は、児童・生徒に、危険を予測・回避する能力、

社会の安全に貢献できる資質等を育むことが目的。主な取り組みには、東京都教育委員会の安全教育プログラムに即した道路上の危険や交通法規等の交通安全知識を学ぶ学習、福生警察署との連携による自転車教室や交通事故を再現し事故の恐怖を体験するスケアード・ストレイト方式による交通安全教室など、体験を通して学ぶ学習を実施している。



▲福生公園内の忠霊塔

## eスポーツについて



公明党  
青木 健 議員



**質問** eスポーツとはコンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉えるもので、指先や脳を使うことで認知機能の向上が期待できるほか、体への負担が少ない。対戦相手とのコミュニケーションの活性化など、フレイル予防に重要な社会参加を促すツールとして有用と考えられているが、本市におけるフレイル対策等への活

用について所見を伺う。

**市長** 高齢者のフレイル予防は、運動、栄養、社会参加の3点が柱と言われており、コロナ禍で社会参加が減少する中、直接的な接触を避けて他者と交流できるeスポーツが注目され、認知症予防への効果の検証等が行われている。自治体においてもコミュニケーションの活性化と健康増進を目指し高齢者向けeスポー

ツの実験が行われ、認知機能の維持・向上に効果があるとする研究結果もある。eスポーツは年齢や性別、体格などの影響を受けにくく、異なる世代との交流にも活用でき、社会活動の活性化や認知機能維持に役立つと期待されている。現在、本市ではフレイル予防への導入の予定はないが、効果検証の結果等を研究し、予防事業の充実に生かしたい。



## 庁用バスについて



公明党  
堀 雄一朗 議員



**質問** 庁用バスの更新にあたり、車椅子と一般の方が同乗できるリフト付きバス導入の検討について伺う。

**市長** 現行の庁用バスは車両登録から約18年が経過し、機器等の不具合も生じており、更新に向けた検討を進めている。委託業者が1台のバスを確保する現行方式と借り上げ方式の2通りで検討したところ、維持管理費用等の面や車いすへの対応、

利用日の重複への対応など、利便性や費用面で借り上げ方式が有効と考えている。

### 熊川駅・東福生駅のバリアフリー化について

**質問** 東福生駅の改修の進捗状況は。また、熊川駅は大規模改修が困難であればスロープの設置を検討すべきと考えるが、所見を伺う。

**市長** 東福生駅は、J R東日本八

王子支社と協議を重ね、令和4年度から事業推進に向けて具体的な作業に取り組んでいく。熊川駅のスロープ設置は傾斜路の勾配など用地等の問題があり、リフトは安全上介添え人が必要など、整備について課題があるため、関係機関との一体的な検討を行うとともに、これまでと同様積極的に鉄道事業者に改善を要請、要望していきたい。



▲現在の熊川駅

## 踏切周辺の整備について



公明党  
原田 剛 議員



**質問** 八高線教会踏切の周辺整備について、関係機関との協議やその後の状況について伺う。

**市長** 踏切拡幅等の安全対策を毎年度J R東日本八王子支社へ要望を継続している。市も拡幅に備え踏切東側の用地は取得しているが、西側の用地取得の交渉が進んでいない。ポケットパーク脇の市道の拡幅も視野に入れているが、踏切が拡幅され

ないと根本的な解決にはならないため、引き続きJ Rに要望したい。

### 地域防犯のわんわんパトロールについて

**質問** 犬の散歩と地域の防犯を兼ねるわんわんパトロールの普及について所見を伺う。

**市長** 本市では子どもの登下校時における見守り活動や町会・自治会における防犯パトロールなど、多く

の市民の方にご協力をいただき、刑法犯認知件数は年々減少傾向にある。愛犬の散歩時に合わせてパトロールをすることも、子どもの安全や地域の防犯力の向上に有効と認識している。現在、東京都都民安全推進本部ではわんわんパトロールを推進しており、本市においては、これを広報紙等で広く周知していきたい。



▲わんわんパトロールの団体登録を行うと進呈されるバッグ